

# ○「取組方針」策定後における進捗状況及び達成状況

黄色着色は今年度から取り組む目標

資料-4

具体的な取組の柱 事項	実施内容	時期	取組機関				進捗状況及び取組	達成状況
			延岡市	宮崎県	気象台	延岡河川国道		
<b>(1)ハード対策の主な取組</b>								
1) 洪水を河川内で安全に流す対策								
①整備計画規模に対応した河道掘削の実施	・整備計画規模に対応した河道掘削	平成28年度～				○	昭和町・野田地区において河道掘削継続中。今後も継続	○
②詳細な堤防高の確認と堤防断面の確保	・詳細な堤防高の確認と堤防断面の確保	平成28年度～				○	LPデータを用いた堤防高の確認(10mピッチ)	○
2) 危機管理型ハード対策								
①避難路にも活用できる堤防天端の検討・整備	・避難路にも活用できる堤防天端の検討・整備	平成28年度～				○	延岡市地域防災計画において策定(H28.8)現在安賀多町において堤防拡幅中。継続して実施	○
②決壊までの時間を延ばす堤防構造の検討・整備	・決壊までの時間を延ばす堤防構造の検討・整備	平成32年度				○		
3) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤整備								
①水防活動に活用する防災拠点の検討・整備	・水防活動に活用する防災拠点の検討・整備	平成32年度	○			○	H29.4.18延岡市との調印式実施 今後引き続き整備に向けて進める	○
②水門、樋門等の安全で確実な操作のための遠隔化	・水門、樋門等の遠隔化の実施	平成28年度～				○	寺島水門、無鹿樋門において遠隔化実施(残2箇所)	○
③水門・樋門等の操作状況が確認できる回転灯等の検討・整備	・水門・樋門等の操作状況が確認できる回転灯等の検討・整備	平成32年度				○		
④災害対応や避難経路としての活用のための立体交差橋梁への緊急用接続用道路の検討・整備	・立体交差橋梁への緊急用接続用道路の検討・整備	平成32年度				○		
⑤円滑な水防活動のための車両交換場所等の検討・整備	・円滑な水防活動のための車両交換場所等の検討・整備	平成32年度				○		
⑥ケーブルテレビ等を通じてみずからが水害リスク情報の収集が可能となるための水位計、量水標、河川カメラ、浸水センサー等の検討・整備	・水位計、量水標、河川カメラ、浸水センサー等の河川監視施設の検討・整備	平成28年度～				○	特定区間において簡易水位計を設置。各危険箇所や公共施設・重要施設(役所・病院)を浸水域に含んでいる危険箇所において簡易水位計を検討。	○
<b>(2)ソフト対策の主な取組 ① みずからが水害の教訓を忘れず、迅速かつ安全な避難、社会システムの回復に資するための取組</b>								
1) 平時からの住民等への周知・訓練に関する事項								
①想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図等の策定・公表	・想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図等の策定・公表	平成28年度		○		○	国管理区間においては、H28.8.30に公表済み。県管理区間においても現在検討中。	○
②想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水氾濫シミュレーションの作成・公表	・想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水氾濫シミュレーションの作成・公表	平成28年度		○		○	プロジェクションマッピングを活用し他機関が参加するタイムライン検討会、市民が参加する延岡市防災フェスタ、防災士交流大会等で公表し時々刻々と変化するイメージを掴んでもらった。	○
③避難計画を反映した洪水ハザードマップの策定・周知		平成32年度	○					
④要配慮者等を対象にした避難体制の確立及び避難方法の周知		平成28年度～	○				現在、延岡市において要配慮者にかかる名簿の作成を実施中。	○
⑤防災組織、自治会、学校教育機関、企業、福祉施設等を対象とした防災意識調査を踏まえた防災訓練、水防教育等の推進	・防災組織、自治会、学校教育機関、企業、福祉施設等を対象とした防災意識調査を踏まえた防災訓練、水防教育等の推進	平成28年度	○	○	○	○	学校教育機関と連携して校長会(小中)でのアンケートを実施し、今後学校の選定を行い水防教育を実施。また市民が集まる防災フェスタでのアンケートの取組も実施しており平成17年からの防災意識の移り変わりも把握し今後も継続して実施していく。	○
⑥各地域の連携強化のために、地域防災マップ作成の出前講座を開講	・地域防災マップ作成の出前講座の開講支援	引き続き実施	○	○		○	地域防災マップに先駆け、防災活動がさかんな地区での出前講座の実施を行った。また延岡市消防本部においても継続して出前講座の開催を行っている。	○
⑦平時からの水防意識の向上を図るためのまるごとまちごとハザードマップの整備	・まるごとまちごとハザードマップ(広報看板、浸水深目印等)の整備	引き続き実施	○	○		○	取組方針策定以降、整備の実施は無し	×

# ○「取組方針」策定後における進捗状況及び達成状況

黄色着色は今年度から取り組む目標

資料-4

具体的な取組の柱 事項	実施内容	時期	取組機関				進捗状況及び取組	達成状況
			延岡市	宮崎県	気象台	延岡河川国道		
<b>(2)ソフト対策の主な取組 ① みずからが水害の教訓を忘れず、迅速かつ安全な避難、社会システムの回復に資するための取組</b>								
1) 平時からの住民等への周知・訓練に関する事項								
⑧災害時の円滑な避難行動のためのまるごとまちごとハザードマップや地域防災マップを活用した避難訓練、勉強会の実施	・まるごとまちごとハザードマップや地域防災マップを活用した避難訓練、勉強会の実施支援	引き続き実施	○	○		○	地域防災マップに先駆け、防災活動がさかんな地区での出前講座の実施。また延岡市消防本部においても継続して出前講座・勉強会の開催を行っている。	○
2) 情報伝達、避難計画等に関する事項								
①避難勧告発令に着目したタイムラインの検証及び改善に向けた情報伝達訓練の実施	・避難勧告発令に着目したタイムラインの検証及び改善に向けた情報伝達訓練の実施	平成29年度～	○	○	○	○	平成28年度出水期において事務所及び延岡市との避難勧告着目型タイムラインの運用を適宜実施した。	○
②防災力の向上につながる住民や企業従業員の避難に着目したタイムライン(事前防災行動計画)の策定	・住民避難に着目したタイムライン(事前防災行動計画)の策定	平成28年度～	○	○		○	他機関連携型タイムラインの構築に向けて、関係機関との検討会を開催し、L2対応型のタイムラインの構築のとりまとめを完了している。さらなるL2でのイメージを与えるために今後も引き続き策定を進める。	○
③迅速な災害情報入手のための交通事業者やインフラ事業者等と連携した情報提供の検討		平成29年度～	○					
④洪水氾濫による被害軽減のための広域避難を含めた避難計画の検討	・洪水氾濫を対象とした広域避難を含めた避難計画の検討	平成28年度～	○	○		○	他機関連携型タイムラインの検討においてL2想定でのタイムラインとなっている事から今後の広域避難を含めた避難計画の策定に役立てる資料の提供を行うこととしている。	○
⑤災害対応能力向上のための要配慮者等を対象とした防災訓練の取組	・要配慮者及び避難行動支援者(高齢者、子供等)を対象とした防災訓練の実施	平成29年度～	○	○		○		
⑥多数の住民(観光客等)が利用する場所等への洪水ハザードマップの掲示、外国人向けの多言語での防災情報提供の検討		平成29年度～	○					
⑦地域で生活する外国人を含めた災害時の安全確保のための防災訓練の実施		平成29年度～	○					
3) 迅速かつ安全な避難に資する施設整備に関する事項								
①洪水氾濫による被害の軽減のため、民間企業や福祉施設等と連携した緊急避難所の確保	・民間企業や福祉施設等と連携した緊急避難所の確保	平成29年度～	○	○		○		
②災害時における逃げ遅れをなくすため、要配慮者の災害対応能力を考慮した避難所及び避難路等の整備		平成29年度～	○					
①浸水時の迅速な社会インフラの機能回復のための緊急排水計画等の検討	・緊急排水計画等の検討	平成29年度～	○	○		○		
②企業で働く人々の家族・地域を守るための、企業向け水防災啓発活動の取組支援	・企業向け水防災啓発活動の取組支援	平成29年度～	○	○		○		
③地域の社会システムを円滑に回復するため、地域企業の水害BCP作成支援等の企業防災の取組推進	・企業BCP作成支援等の企業防災の取組推進	平成29年度～	○	○		○		
④氾濫時に人命や財産を守るための水防用資機材の再配置と充実化	・水防用資機材の再配置と充実化	引き続き実施	○	○		○	防災ステーションの設置における備蓄資材の再配置計画の検討が終了。今後、施設の整備等含めて引き続き検討していく。	○
⑤災害時に地域の社会経済システムを迅速に回復するために、関係機関と地域企業が連携した水防訓練を実施	・関係機関と地域企業が連携した水防訓練を実施	引き続き実施	○	○	○	○	毎年、5月第3日曜日に関係機関・地域企業が連携した水防訓練を実施。今年度においても実施を図る。	○
⑥地域の社会経済活動を継続するため、地域防災の主体となる自主防災組織と地域企業を軸にした防災訓練実施の取組支援		引き続き実施	○				延岡市防災推進員が主となり各地域での防災訓練の支援を行っている。今後は地域企業を含めた勉強会や防災訓練の支援を行っていく。	○

# ○「取組方針」策定後における進捗状況及び達成状況

黄色着色は今年度から取り組む目標

資料-4

具体的な取組の柱 事項	実施内容	時期	取組機関				進捗状況及び取組	達成状況
			延岡市	宮崎県	気象台	延岡河川国道		
<b>(2)ソフト対策の主な取組 ② 洪水氾濫による被害を地域や企業のみならず軽減、防災組織・体制強化のための水防活動の取組</b>								
1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項								
①洪水時のリスク共有のための水防団や住民が参加した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	・水防団や住民が参加した共同点検の実施	平成29年度～	○	○	○	○	水防連絡会・洪水予報連絡会と併せて、合同巡視を開催し消防団・自主防災組織会長と危険箇所の周知を実施している。	○
②防災力の向上につながる住民や企業従業員の避難に着目したタイムライン(事前防災行動計画)の策定【再掲】	・住民避難に着目したタイムライン(事前防災行動計画)の策定	平成28年度～	○	○		○	他機関連携型タイムラインの構築に向けて、関係機関との検討会を開催し、L2対応型のタイムラインの構築のとりまとめを完了している。さらなるL2でのイメージを与えるために今後も引き続き策定を進める。	○
③迅速かつ円滑な防災対応のための水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○		○	洪水対応演習による情報伝達訓練の実施	○
④確実な情報伝達のためのホットラインによる行政間の緊急連絡体制の確認・検討	・ホットラインによる行政間の緊急連絡体制の確認・検討	引き続き実施	○	○	○	○	市町村との大規模災害時の応援に関する協定に係る緊急連絡体制等の作業について、毎年更新を実施し有事に備えた体制を取っている。	
⑤迅速かつ円滑な防災対応のための関係機関が連携した水防訓練や情報伝達訓練の実施【再掲】	・防災関係機関が連携した水防訓練や情報伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○	○	○	・洪水対応演習による情報伝達訓練の実施 ・毎年、5月第3日曜日に関係機関・地域企業が連携した水防訓練を実施。今年度においても実施を図る。	○
2) 地域の防災組織構築の推進及び体制強化に関する事項								
①地域の社会経済活動を継続するための大規模工場等への水害リスクの情報提供及び自衛水防(企業水防)の取組強化	・大規模工場等への水害リスクの情報提供 ・自衛水防(企業水防)の取組支援	平成29年度～	○	○		○		
②水害時における地域企業BCP作成支援等の企業防災の取組推進【再掲】	・企業BCP作成支援等の企業防災の取組推進	平成29年度～	○	○		○		
③防災体制強化のため、水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を推進		引き続き実施	○				延岡市において継続して推進	○
④防災体制強化のため、各地区で延岡市防災推進員等による勉強会を実施し組織結成率を向上	・延岡市防災推進員等による勉強会の実施を支援	引き続き実施	○	○	○	○	防災フェスタでの防災に関する相談コーナーや自主防災組織が未結成な地区の区長への相談コーナーも設けられ、一般住民の方々に防災について知ってもらうことや自主防災組織の重要性を支援している。	○
⑤災害時の円滑な防災対応のため、自主防災組織が主体となる防災訓練実施の取組支援【再掲】		引き続き実施	○				延岡市防災推進員が主となり各地域での防災訓練の支援を行っている。今後は地域企業を含めた勉強会や防災訓練の支援を行っていく。	○
⑥災害時の円滑な防災対応のため、災害ボランティアリーダー養成講座の開講及び災害ボランティアネットワークの体制強化		引き続き実施	○				延岡市において継続して推進	○
⑦緊急時の的確な対応を行うため、延岡市消防団及び自主防災組織、防災士がDIG・HUG等を継続訓練		引き続き実施	○				延岡市消防団において継続して推進。防災士ネットワーク交流大会においても各防災士が継続して実施。	○

# ○「取組方針」策定後における進捗状況及び達成状況

黄色着色は今年度から取り組む目標

資料-4

具体的な取組の柱 事項	実施内容	時期	取組機関				進捗状況及び取組	達成状況
			延岡市	宮崎県	気象台	延岡河川国道		
<b>(2)ソフト対策の主な取組 ③ みずからの自助力、みんなの共助力向上のための水防災教育の推進の取組</b>								
1) 水害教訓の伝承及び水防災教育の推進に関する事項								
① 防災組織、自治会、学校教育機関、企業、福祉施設等を対象とした防災意識調査を踏まえた防災訓練、水防災教育等の推進【再掲】	・防災組織、自治会、学校教育機関、企業、福祉施設等を対象とした防災意識調査を踏まえた防災訓練、水防災教育等の推進	平成28年度	○	○	○	○	学校教育機関と連携して校長会(小中)でのアンケートを実施し、今後学校の選定を行い水防災教育を実施。また市民が集まる防災フェスタでのアンケートの取組も実施しており平成17年からの防災意識の移り変わりも把握し今後も継続して実施。	○
② 地域の連携強化のための地域防災マップ作成の出前講座【再掲】	・地域防災マップ作成の出前講座の実施支援	引き続き実施	○	○		○	地域防災マップに先駆け、防災活動がさかんな地区での出前講座の実施を行った。また延岡市消防本部においても継続して出前講座の開催を行っている。	○
③ 自ら判断して避難できる人材育成を目的とした学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進	・学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進	引き続き実施	○	○	○	○	学校教育機関と連携して校長会(中高)でのアンケートを実施し、今後学校の選定を行い水防災教育を実施。また市民が集まる防災フェスタでのアンケートの取組も実施しており平成17年からの防災意識の移り変わりも把握し今後も継続して実施していく。	○
④ 災害時の円滑な避難行動のためのまるごとまちごとハザードマップや地域防災マップを活用した避難訓練、勉強会の実施【再掲】	・まるごとまちごとハザードマップや地域防災マップを活用した避難訓練、勉強会の実施支援	引き続き実施	○	○		○	地域防災マップに先駆け、防災活動がさかんな地区での出前講座の実施を行った。また延岡市消防本部においても継続して出前講座・勉強会の開催を行っている。	○
⑤ 防災意識の啓発を目的とした防災研修会やワークショップ等の開催	・防災意識の啓発を目的とした防災研修会やワークショップ等の開催	引き続き実施		○	○	○	自主防災組織を対象とした防災研修会を開催。また他機関連携型タイムライン検討会においては防災関係機関のみではなく様々な機関とワークショップを開催し防災意識の啓発を行っている。	○
⑥ 天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会の構成員(河川協力団体、NPO、住民団体等)と連携した水防災教育、啓発活動の推進	・天下一五ヶ瀬かわまちアクションプランの構成員(河川協力団体、NPO、住民団体等)と連携した水防災教育、啓発活動の推進	引き続き実施	○	○		○	五ヶ瀬川に存在する置堤の「置堤を守る会(NPO)」と連携を深めており延岡工業高等学校との意識啓発行動の推進を行っている。引き続き支援を行っていく。	○
⑦ 平時からの防災意識の醸成のためのテレビ、インターネット、ラジオ、広報誌等のマスメディアによる水防災活動の発信	・テレビ、インターネット、ラジオ、広報誌等のマスメディアによる水防災活動の発信	引き続き実施	○	○	○	○	毎月第3火曜日のFMのべおか「防災インフォメーション」での防災に関する様々なタイムリーな話題提供に努めている。また今後も様々な機会を通じて発信していく。	○
⑧ 水害の記憶の風化を防ぐための平成17年9月台風14号等の水害教訓を伝承していく取組	・水害の記憶の風化を防ぐための平成17年9月台風14号等の水害教訓を伝承していく取組	引き続き実施	○	○	○	○	自主防災組織を対象とした防災研修会や広報による水害教訓の伝承を行っている。引き続き取り組んでいく。	○